

2024 年度

動物実験に関する自己点検・評価報告書

新潟薬科大学

2025 年 6 月

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 評価結果 ■ 基本指針に適合する機関内規程を定めている。 □ 機関内規程を定めているが、一部に改善すべき点がある。 □ 機関内規程を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料 新潟薬科大学動物実験規程
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 基本指針に基づき、機関内規程として新潟薬科大学動物実験規程が定められている。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし。

2. 動物実験委員会

1) 評価結果 ■ 基本指針に適合する動物実験委員会を設置している。 □ 動物実験委員会を設置しているが、一部に改善すべき点がある。 □ 動物実験委員会を設置していない。
2) 自己点検の対象とした資料 新潟薬科大学動物実験規程、組織体制図
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 新潟薬科大学動物実験規程において、動物実験委員会が設置され、任務等が規定されている。 委員は、学長により3種のカテゴリーごとに任命されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし。

### 3. 動物実験の実施体制

1) 評価結果 ■ 基本指針に適合し、動物実験の実施体制を定めている。 □ 動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 □ 動物実験の実施体制を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料 新潟薬科大学動物実験規程、動物実験結果報告書、飼養数・保管記録
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 新潟薬科大学動物実験規程において、動物実験計画の立案、動物実験委員での審査、学長による承認及び結果報告等の手続きが規定され、各種様式が定められており、適正な実施体制が構築されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし。

### 4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

1) 評価結果 ■ 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めている。 □ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 □ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めていない。 □ 該当する動物実験を行っていないので、実施体制を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料 新潟薬科大学動物実験規程、飼養・保管マニュアル新潟薬科大学遺伝子組換え実験安全管理規程、新潟薬科大学病原体安全管理規程、新潟薬科大学化学物質管理規程等
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 規程等により安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が適正に定められている。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし。

5. 実験動物の飼養保管の体制

1) 評価結果 ■ 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。 □ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 新潟薬科大学動物実験規程、新潟薬科大学実験動物施設等における飼養・保管マニュアル
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 実験動物管理者が設置され、適正な飼養保管の体制としている。また、実験動物飼養保管基準に沿った飼養・保管マニュアルが策定されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし。

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

特になし。
-------

II. 実施状況

1. 動物実験委員会

1) 評価結果 ■ 基本指針に適合し、適正に機能している。 □ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 新潟薬科大学動物実験規程、動物実験計画書、動物実験結果報告書、動物実験計画変更承認申請書、動物実験委員会での審査内容の記録、委員会議事録
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 実験計画の審査は、規程にもとづき、委員会において適正に実施している。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし。

## 2. 動物実験の実施状況

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験を実施している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 動物実験計画書、動物実験結果報告書、動物実験計画変更承認申請書、動物実験の自己点検票、飼養保管記録
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 動物実験計画の立案・審査・承認・結果報告が適正に実施された。2024年度は、15件の計画が学長により承認され、実験終了後には継続中の実験計画を含むすべての実験計画について、動物実験結果報告書、実験動物の自己点検票、飼養保管記録が提出された。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし。

## 3. 安全管理に注意を要する動物実験の実施状況

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、当該実験を適正に実施している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験を行っていない。
2) 自己点検の対象とした資料
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 対象となる 2024 年度の動物実験計画書のうち、審査件数:2 件ですべて遺伝子組換えに関するものであった。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし

4. 実験動物の飼養保管状況

1) 評価結果 ■ 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 □ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 動物実験計画書、実験動物施設設置・使用承認申請書、実験動物施設外実験室設置承認申請書、飼養・保管点検項目表
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 適正に飼養保管されている状況である。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし。

5. 施設等の維持管理の状況

1) 評価結果 ■ 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に維持管理している。 □ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 入退室記録、施設・設備の点検に関する資料等
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 飼養保管施設は適正に維持管理されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし。

6. 教育訓練の実施状況

1) 評価結果 ■ 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 □ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 新潟薬科大学実験動物施設利用者講習会実施状況 動画配信により実施し、50名の学生・教職員等の受講があった。
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 実験動物管理者、動物実験実施者等に対する教育訓練が適正に実施されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし。

7. 自己点検・評価、情報公開

1) 評価結果 ■ 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 □ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 新潟薬科大学ホームページに自己点検・評価報告書、
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし。

8. その他

（動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果）

実験動物慰霊祭を開催した（2024年12月18日） 動物実験委員会メンバー4名、動物実験従事者1名が参加した。
--